

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 071	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 シクラメンの種子の発芽に関すること。(発芽率、育苗の向上)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 当管内では、シクラメン農家が36戸程度あり、生産量は、約11万鉢のシクラメンが出荷されています。近年、都市化の中では、直売主体、宅配のウエートが大きく、新しい品種の要望も多い。品種数も約30種類以上、生産されているのが現状である。そのため、新しい種類は、種子の単価も高く、品種によっては、発芽が特に悪く、50%を割るものもある。また農家が自家採取して保存している種子もあり、薬剤、温水等の処理によつて、手軽で十分効果がある方法の開発を望みたい。またこの方法によつて、同時に病気にも効果があるのを期待したい。なお、発芽後は、育苗について、その後の生育にどのように影響するか、現地の農家サイドで確認を県技術センターと共同で確認したい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業研究センター	担当部所	果樹花き研究部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 直売等に適した花き・観賞樹の安定生産技術の開発 鉢物・花壇苗の高品質省力栽培技術の検討 シクラメンの発芽率向上試験		
対応の内容等	提案書でご指摘のように、シクラメンの種子の中には品種や保存方法により難発芽なものがあり、販売種子が高価であることなどから問題となっています。 発芽率向上試験には21年度から取り組んでおり、温湯浸漬処理が有効であることが示唆されています。今年度以降は、有効な温湯処理の温度、時間、ジベレリンなど植物成長調節剤利用の可能性、種子消毒剤と合わせた処理法などについて検討して、発芽率向上技術の開発を図りたいと考えています。また、発芽処理がその後の生育に及ぼす影響についても確認いたします。 難発芽種子の入手や情報提供などについてご協力をお願いいたします。		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			